

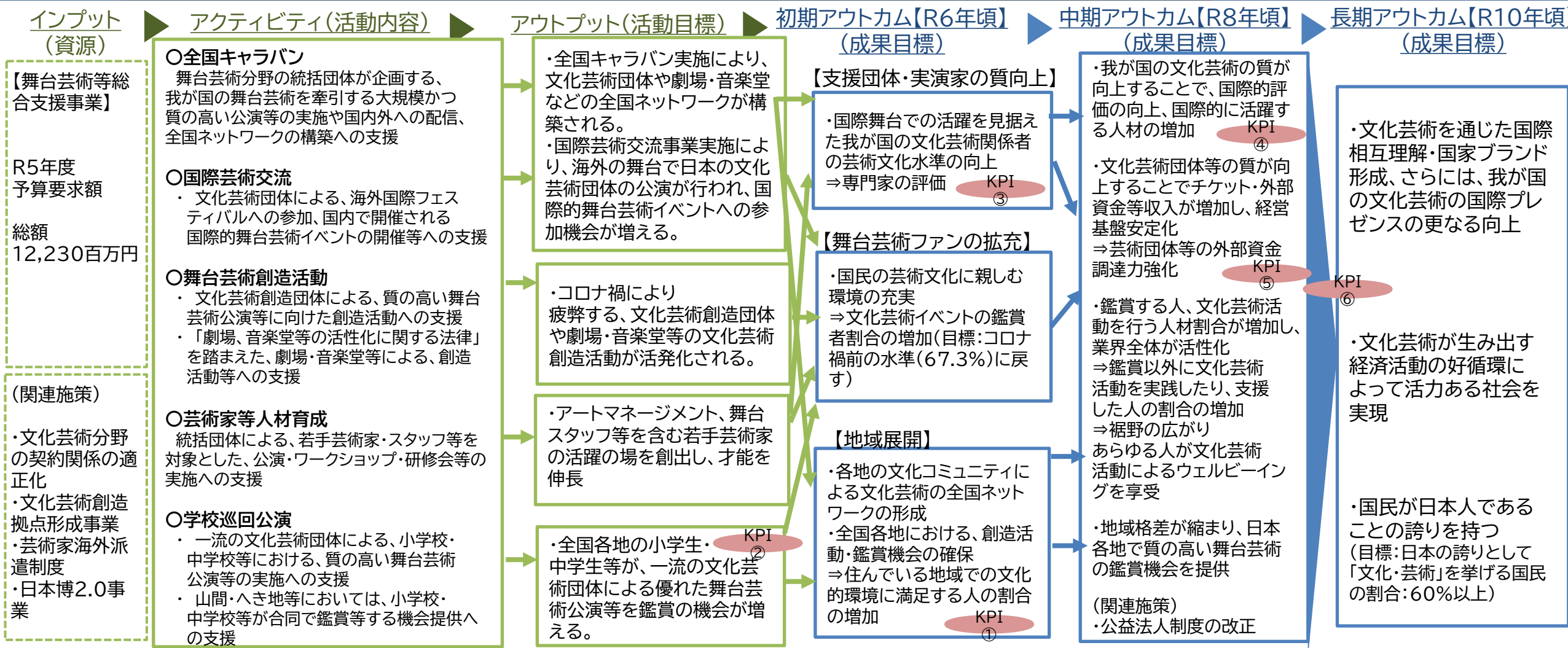
# 「舞台芸術等総合支援事業」ロジックモデル (R5年度要求額:12,230百万円)

- 現状**
- ・文化芸術団体等が首都圏に集中
  - ・コロナ禍による文化芸術団体等の活動の場の減少
- 課題**
- ・文化的環境の地域格差
  - ・コロナ禍による疲弊、国民の芸術鑑賞機会の減少、文化芸術団体の大幅減収
  - ・昨今のグローバル化及びデジタル化の進展を踏まえた文化芸術のグローバル展開
- 本事業の目的**
- ・文化芸術を通じた国家ブランド形成・経済活性化、文化的地域格差を解消しあらゆる人に文化芸術に触れる機会を提供

(現状・課題を示すデータ)

**コロナ影響**

- ・文化芸術イベントを直接鑑賞した人の割合  
R3年度:39.7%(コロナ前67.3%)
- ・ライブエンタメ市場規模  
R2年度:1,106億円(コロナ前6,295億円)  
(82.4%減)



**インパクト** 文化芸術に触れることで、あらゆる人の心を豊かにし、また、文化芸術投資が生み出す経済効果により国を豊かにし、さらには、我が国の国際プレゼンスを向上させ、世界平和に貢献する。

## 測定指標と目標値

- KPI ① ・国内における舞台芸術公演数(R3年1,685公演⇒R5年1.5倍)(2,528公演)
- KPI ② ・子供の舞台鑑賞者数(R3年:251,035名⇒R5年:376,553名)
- KPI ③ ・我が国の文化芸術団体等による国際舞台での公演数(目標●公演以上)
- ・海外との共同制作公演数(目標●公演以上)

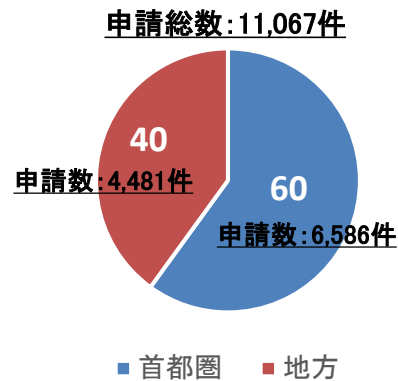
- KPI ④ ・国際的に活躍する人材の増加(目標●人以上)
- KPI ⑤ ・文化芸術振興に関わる寄附経験者 (R4年2.8%⇒R6年5%)
- KPI ⑥ ・文化GDP (R3年1.83%⇒R8年3%)

# 「舞台芸術等総合支援事業」補足 (R5年度要求額:12,230百万円)

## 現状(補足):エビデンス ① 文化的地域格差大

### ■ARTS for the future! 都道府県別交付状況

全国の芸術団体のうち  
約6割が首都圏に  
位置する

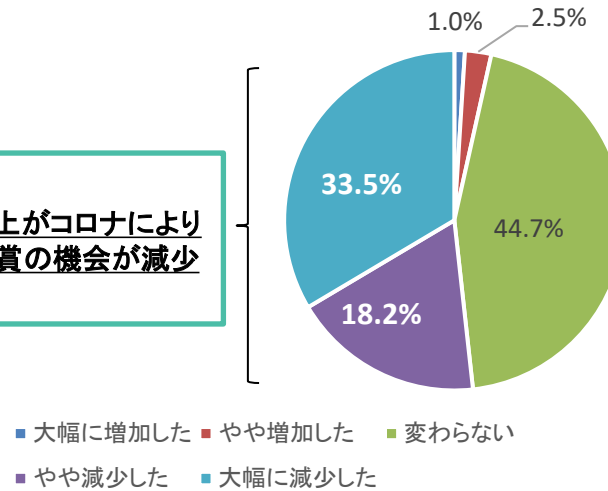


※ 首都圏とは  
東京都、神奈川県、埼玉県、  
千葉県の4都県

出典:(文化庁)令和2年度第3次補正予算  
ARTS for the future! 都道府県別交付状況

## 現状(補足):エビデンス ② コロナによる国民の芸術鑑賞機会の減少

半数以上がコロナにより  
芸術鑑賞の機会が減少

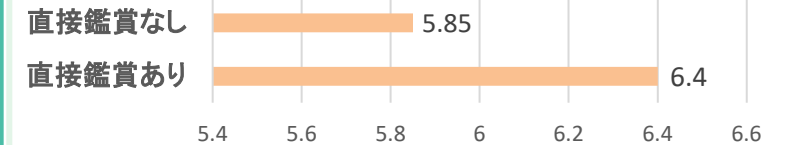


出典:(文化庁)文化に関する世論調査報告書(R3)

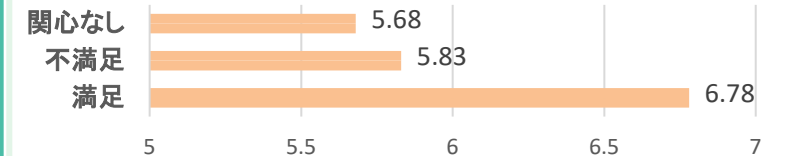
## 中期アウトカム(補足):エビデンス 文化芸術活動とウェルビーイング

[とても幸せ:10点][とても不幸:0点]とすると、  
現在あなたはどの程度幸せかという質問の回答平均

### 直接鑑賞の有無

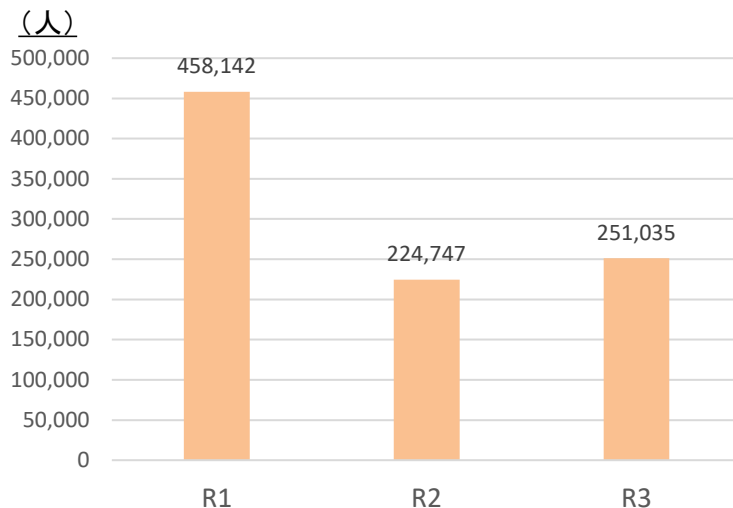


### 地域の文化的環境の満足度



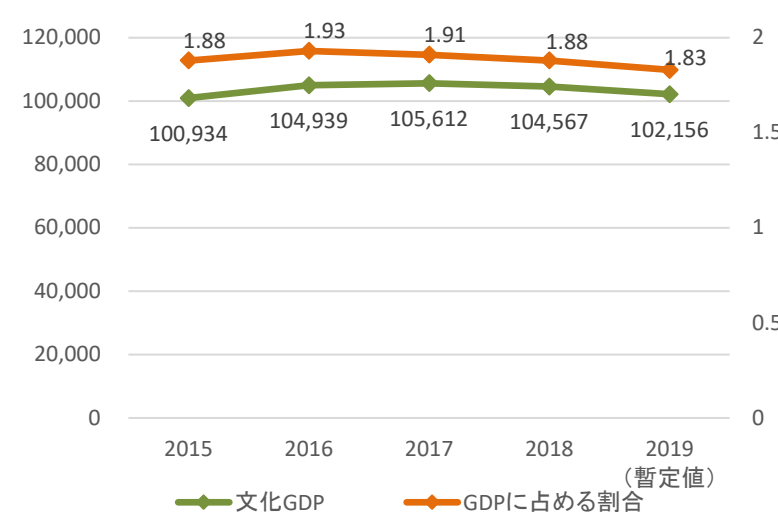
出典:(文化庁)文化に関する世論調査報告書(R3)

## KPI②:参考 子供の一流舞台鑑賞者数



出典:(文化庁)文化芸術による子供育成推進事業  
巡回公演体験児童数

## KPI④:参考 文化GDP



出典:(文化庁)令和3年度文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に向けた調査研究結果